

■ 整備の背景

平成36(2024)年に開催予定の第79回国民スポーツ大会(国スポ)および第24回全国障害者スポーツ大会(障スポ)の競技会場として、また、国スポ・障スポ後の施設利用を見据えて、「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」を実現し得る施設として、(仮称)草津市立プールを整備することとした。

■ 周辺環境



- 計画地：滋賀県草津市西大路町他地先
敷地面積：約14,000㎡(駐車場を除く)
用途地域：第一種住居地域(近隣商業地域に変更予定)

■ 基本方針

- ① スポーツ環境の充実
国スポなど水泳競技における大規模大会の開催を可能とし、県および市の競技スポーツの推進に寄与する施設とする。
競技スポーツの基盤を確かなものとし、更なる競技力の向上を図るため、選手の育成・強化が行える施設とする。
子どもから高齢者まで、障害のある方もない方も、ビギナー(初心者)からアスリート(競技者)まで誰もが利用しやすい施設とする。
② 新たなにぎわいの創出
中心市街地のにぎわい創出に貢献する施設とする。
気軽に参加できる様々なスポーツイベントの開催によって、新たな交流のきっかけとなる施設とする。
大規模大会の開催などを通じ、全国から人が集まり、周辺施設の利用も含めて、地域活性化のきっかけとなる施設とする。
③ スポーツ健康づくりの推進
「健康しが」、「健康都市くさつ」の実現に寄与するために、草津市民をはじめとする県民の健康づくりにつながる施設とする。
水泳などを通して、健康増進や体力向上、心身のリフレッシュが図れる施設とする。
水泳や水中ウォーキングなどの生涯スポーツやレクリエーション活動の場として一年中利用できる施設とする。

■ 導入機能

- ① 水泳競技大会開催機能
② 競技力向上機能
③ 健康拠点機能
④ 利用促進機能
⑤ 交流・コミュニティ機能
⑥ 防災機能

■ 周辺施設との連携

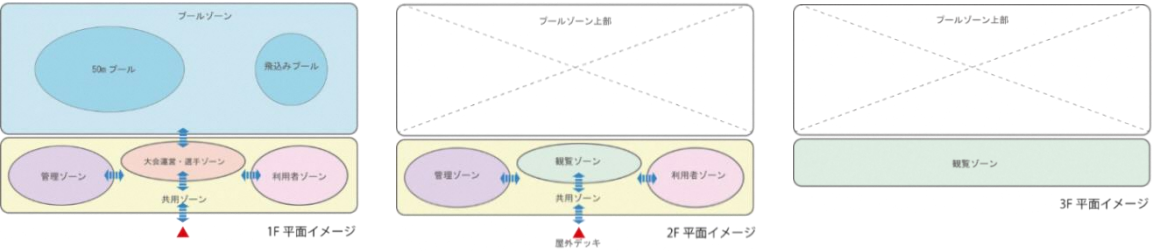
野村運動公園や草津川跡地公園(区間5)等の周辺施設との連携により、年齢、障害の有無、経験などに関わらず県民、市民が日常的にスポーツに親しみ、楽しむことができ、また、地域に開かれた施設として、「健康都市づくり」および「中心市街地の活性化」に寄与し、新たなにぎわいの創出、スポーツを通じた健康づくりの推進を図ることを目指す。

■ 必要諸室・規模

Table with 2 columns: Facility Type (Pool, Attached, Management) and Details (Room names like更衣室, トイレ, 事務室, etc.)

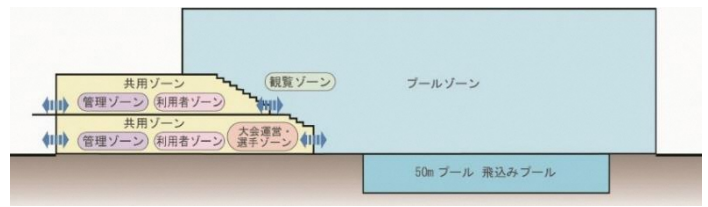
■ 平面・ゾーニング計画

コンパクトな施設配置と機能性・利便性を両立した施設計画とする。



■ 階層構成

プールゾーンに必要な高さを確保しながら、コンパクトな施設配置を実現した階層構成とする。



■ 事業費

Table of construction and maintenance costs, including items like 建設工事費, 付帯工事費, and 維持管理・運営費.

※ その他、用地取得費等を想定(約1.8億円)

■ 料金収入

Table of revenue from users, categorized by group (大会利用, 個人利用) and total annual revenue.

※ 事業費・料金収入は現時点で概算であるため、今後、検討の進捗などを踏まえ精査を行う

■ 費用対効果(47年間供用と想定)

Table comparing total costs (施設整備, 維持管理) against total benefits (料金収入, 観光消費) over a 47-year period.

※ 効果は産業連関表より算定した

■ 事業手法

事業スケジュールが長期化するというデメリットがあるが、民間のノウハウ活用による運営の効率化やVFMの発現が期待されるため、PFI方式を採用する。(シミュレーションVFM=7.1%)

■ 事業スケジュール

Timeline table showing key milestones from October 2023 to August 2035, including construction and opening phases.